

オール福岡による新たなチャレンジ



TEAM FUKUOKA

国際金融機能誘致の方向性（案）

1. 国際金融機能誘致に向けた現状分析

国際経済・社会の情勢と福岡の現状

国際経済・社会の情勢

- 国家安全維持法の施行により、**国際金融センター香港から、人材や資金が流出する可能性が高まっている**
- 国際金融をはじめ経済活動について、国・地域、大都市、地方都市に関わらず、**世界的に都市間競争が激化している**
- 世界の金融業界では、フィンテックやESG投資など**新たな潮流**が生まれ、**新しいビジネスモデルが不可欠な状況**だが、**日本ではこの分野の競争性が低い**
- 香港、シンガポールと比較して、**日本は所得税、法人税の税率が高く、在留資格などの規制も存在する**

福岡の現状

- 治安の良さや政治的問題が少ない日本の中でも、**東アジアの各都市に最も近く、同時被災のリスクが低い日本海側唯一の大都市**である
- 豊かな自然と充実した都市機能がコンパクトに整った**QOLが高い都市**だが、英語対応など**外国人に対応したビジネス・生活環境が脆弱**
- 国家戦略特区に指定され、日本で唯一無二の**スタートアップ都市**となったが、フィンテックの推進やIPOの機能強化など、**先端産業の成長を加速させる仕組みが必要**である
- 福岡をはじめ九州内には、**数多くの優秀な理工系学生や留学生が存在する**が、**就職により他都市・地域へ流出**している

2. 福岡が目指す方向性

福岡らしい国際金融機能の集積により

継続的にイノベーションを創出する国際都市を目指す！

- ◆ 外資系金融機関や高度人材などの**国際金融機能の誘致**と新たな潮流である**フィンテック**などの**集積**によって、**地域経済の活性化**を図る。
- ◆ また、**外資系企業やグローバル人材が集積**することで、**継続的にイノベーションを創出する国際都市**を目指していく。

地元企業やスタートアップの
資金調達の可能性の拡大

外資系企業の進出による
地元サービス経済の活性化

留学生を含む優秀な
グローバル人材の定着

国際社会における
福岡の知名度向上

外国人にも暮らしやすい
生活環境・サービスの充実

福岡らしい
国際金融機能
の集積

・外資系金融機関や
高度人材

・フィンテックやグリーン
テックなど新たな技術

など

グローバル人材が
働く多様性のある
都市

継続的に
イノベーションを
創出する活力ある
都市

誰もが
暮らしやすい
都市

3. 福岡が目指す国際金融都市のイメージ

福岡の特性と親和性が高い業種・業態が集積！

国際金融の「情勢」 × 福岡の「特性」

- 香港の人材や資金が流出する可能性
- 高度人材はQOLを重視する傾向
- 米国や英国では、資産運用業は首都だけでなく、各都市に分散立地
- 世界的なグリーンファイナンス市場の拡大と非化石電源比率が高い九州

「情勢」や「特性」を 踏まえた考え方

- 香港に最も近い大都市という地理的優位性を活かし、資産運用業をはじめ、付随するカスタディ業務を誘致する。
- これにより、QOLの高い都市でのニューノーマルなライフスタイルを創造し、大都市と異なる個性を創る。

重点的に誘致する 業種・業態

資産運用業

資産運用会社、
カスタディ会社
…等

- 福岡市は、日本で唯一無二のスタートアップ都市
- 福岡県は理工系人材が豊富であり、福岡市にはエンジニアが集積
- 日本の競争優位性が低い現状

- 理工系人材やエンジニアが活躍し、地域の金融機関と連携した高度な金融サービスを構築するFintechを誘致する。
- これにより、決済、資産管理、ブロックチェーン、与信、融資など幅広い領域の付加価値が向上するとともに、スタートアップ都市として、日本のフィンテックを先導していく。

FinTech

- 東京や大阪との同時被災リスクが低い日本海側に面した唯一の大都市
- コロナ禍における地域分散型社会の到来
- 豊かな自然と充実した都市機能がコンパクトに整ったQOLが高い都市

- QOLの高さを活かし、災害や感染症リスクの低減、日本、アジアのバックアップ機能を強化する

BCP対応業務

国際的知名度の向上と
外資系他業種の立地促進

4. TEAM FUKUOKAが対応すべき課題

制度、ビジネス環境、生活環境、プロモーション

課題分野	課題と対応案
国際競争力のある制度の構築 日本の税率の高さや行政手続きの簡素化、英語対応の問題等を解消する必要がある。	1. 税制 →金融庁R3年度税制改正要望（法人税、所得税、相続税） 2. 行政サービスの英語対応や手続き簡素化 →金融庁対応予定（2021.1） 3. 在留資格の緩和 →金融庁と法務省で協議中 4. ワンストップ支援体制の構築 →福岡市 FGN内に「Global Finance Centre」開設済 →金融庁「拠点開設サポートオフィス」開設予定（2021.1）
快適なビジネス環境の提供 高付加価値なオフィス環境の確保、通信インフラ環境の強化、福岡空港国際線の充実、優秀な留学生等の就職先の確保等が必要である。	5. 付加価値が高いオフィス環境の確保 →天神ビッグバン、博多コネクティッドによる最先端オフィスビルの開業 →街区単位での通信・ICTインフラの充実 6. 英語対応専門の士業の確保 →弁護士、会計士、監査法人などの誘致 7. 資産運用業やFinTechを支える地元の高度人材の創出 →産学官の連携による新たな企業や産業の創出、人材の定着 8. 福岡空港の国際路線の機能強化
快適な生活環境の提供 外国人仕様の住居や教育、医療、事故などの英語対応の充実が必要である。	9. 高度人材（外国人）に対応したレジデンスの確保 →都心部でのマンション整備等の対応 10. インターナショナルスクールの充実 11. 英語対応による生活サポート（医療…等）の充実
プロモーション活動の推進 ネットワークづくりや情報発信等を強化する必要がある。	12. ネットワーク等を活用した誘致プロモーション活動 →福岡市による国際金融アンバサダーの委嘱 →各社・団体の様々な機会を通じたプロモーションの実施

5. 最後に

国際都市「FUKUOKA」として次のステージへ飛躍！

- 本取り組みは、福岡が、国際金融機能の誘致を進めながら、**継続的にイノベーションを創出する国際都市となる**ことを目指していくものである。
- これまでスタートアップ都市として、また、知識創造型産業の集積を推進することで、イノベーションや付加価値を生み出す環境を整えてきた福岡。これに、国際金融機能の優れた経営資源を加え、スタートアップ企業や地元企業の海外展開をはじめ、地域経済のより一層の活性化を図っていくためには、**IPOの機能強化をはじめ、都市としての資金調達の仕組みづくり**についても、**将来の課題として検討していく必要がある**。

福岡が次のステージに飛躍していくためには…
時限的な取り組みではなく、
継続して実行していくことが重要！

Global Finance City FUKUOKA



1. 挑戦する福岡！

TEAM FUKUOKA
本体
地場9社を中心に、福岡が国際金融都市になるための機運を醸成する推進組織
2020年9月28日設立

Global Finance Centre
窓口
プロジェクトを実行する部隊
2020年10月20日設立

2. TEAM FUKUOKA

国際金融機能を福岡に誘致するため、産学官が各々の特性を生かし、“オール福岡”で機運醸成の環境づくりや、プロモーション活動などを進めていくための推進組織



3. Global Finance Centre

GFCは、日本での最初の窓口であり、ニーズに答え、プロジェクトを実行するチーム

ビザ

法規制&税制

会社運営

マッチング

法人設立

不動産
(オフィス&住宅)

人材

4. 国際金融都市への条件

他の金融都市との差別化が課題！

金融都市になるための基本的要件；

1. インターナショナルスクールの充実
2. ワンランク上の住居の利便性
3. 英語対応ができる環境の創設
4. ネット環境の充実

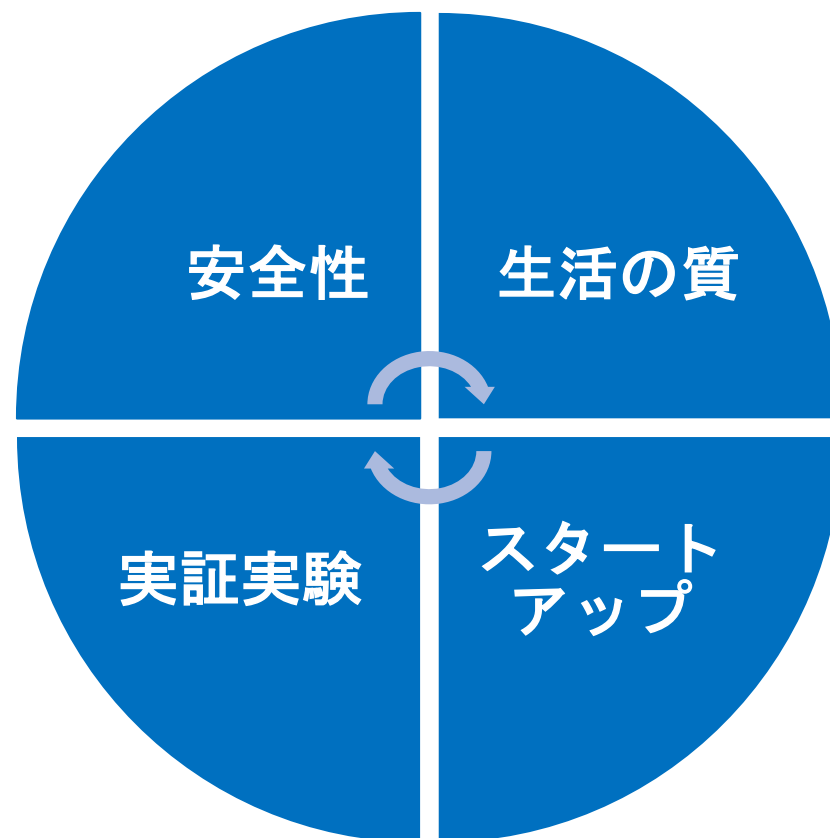
既存の福岡の利点を最大化



5. 福岡の優位点

- ・ 地理的安全
- ・ 日本海に面した大都市

- ・ リーズナブルな生活費
- ・ トライしやすい環境



- ・ コンパクトシティ
- ・ 快適な生活環境
- ・ 日本一の空港アクセス

- ・ 成長中のスタートアップエコシステム

6. データセンターの設置

地理的に最も安全な都市、福岡

- 大都市（東京、大阪、名古屋）は、太平洋側に位置しているが、日本海側に位置する日本一の都市は、福岡である
- 福岡には既にデータセンターが完備されている。

金融業界への活用可能性

- テクノロジーへの積極的な投資と開発がある環境



NTT DATA

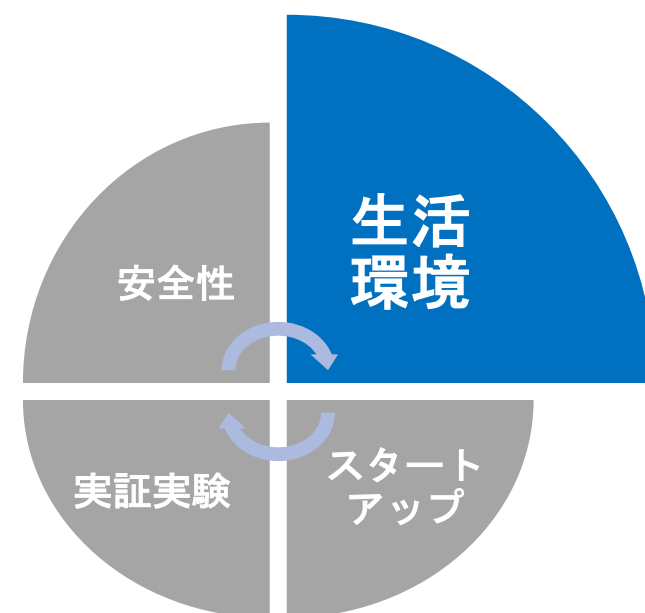
QTnet



7. 生活の質が高い街

ミドル&バックオフィス、またはリモートワーカーにとって最適な街！

- 日本の中で最も生活費がリーズナブルな都市である
- コンパクトな街であり、移動時間が短い
- 他都市に比べ英語環境、人材が優れている
- リモートワーカーのための環境が充実



8. 国内既存企業（外資系企業含む）

福岡へ金融機関の「機能（支社・支店）」を誘致！

機関	税込	雇用創出	シナジー	実現性
本店	○	○	○	
支店 (ミドル/バックオフィス)		○		○
データセンター			○	○
リモートワーク		○		

Note:

- 国内にある既存の金融機関が、本店を移転することは難しい。
- 国内にある既存の金融機関が、福岡にミドル&バックオフィスを設立する場合は支店となる。実現性は本店より高い。

9. 外国企業（日本進出前）

ミドル&バックオフィスの設立を目的に
海外金融機関を海外から誘致！

機関	税金	雇用創出	シナジー	実現性
本店	○	○	○	
独立現地法人 (ミドル/バックオフィス)	○	○		○
データセンター			○	○
リモートワーク		○		

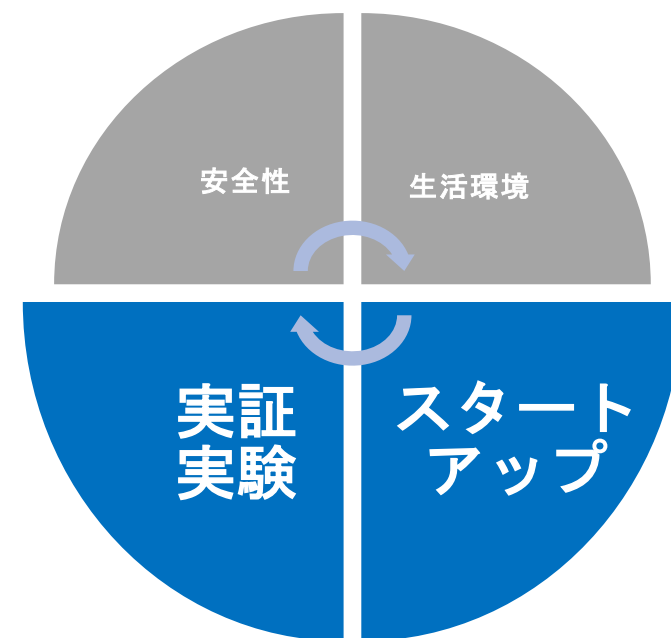
Note:

- 海外にある金融機関が、福岡にミドル&バックオフィスを設立する場合は、現地独立法人となる。
- リモートワークの場合、ビザの課題があるが、福岡はスタートアップビザの実績から検討余地がある。

10. 成長続けるビジネス環境

スタートアップエコシステムが 福岡には既にある！

- スタートアップビザは外国人の創業を促進し、金融に関連するスタートアップも受け入れることができる。
- 官民一体で、新しい技術導入のため、実証実験を積極的におこなっている。「みんなの銀行」は、日本で最初の完全デジタル銀行である。
- 福岡の多種多様で前進する姿勢が、日本だけでなく、世界からの投資家や起業家、スタートアップが福岡に注目を集めている



11. まとめ

Start Easy
Start Fast

Email: fukuoka@globalfinance.jp

TEL: 090-6631-3339

TEAM FUKUOKA誘致第1号

